授業科目	構音障害Ⅱ（機能性）				
担 当 者	吉田紀子				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学　　年	1年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択･必修	必修

■ 授業目的・内容

機能性構音障害の指導に必要な基礎知識を学ぶ。
構音の評価および結果の分析、指導のすすめかたについて学ぶ。

■ 到 達 目 標

・構音発達の過程と機能性構音障害について理解する。
・構音を正確に聴き取り、記録することができる。
・構音障害の検査、結果の分析、構音指導を立案・実施することができる。

■ 授 業 計 画

第１回　機能性構音障害とは
第２回　幼児期の構音発達
第３回　日本語の構音
第４回　構音の聴き取りと記録
第５回　機能性構音障害における構音の誤り①
第６回　機能性構音障害における構音の誤り②（異常構音）
第７回　構音の評価①
第８回　構音の評価②（構音検査演習）
第９回　評価結果の分析①
第10回　評価結果の分析②（演習）
第11回　構音の指導①
第12回　構音の指導②（演習）
第13回　ケーススタディー①
第14回　ケーススタディー②
第15回　ケーススタディー③

■ 評 価 方 法

筆記試験100％

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

基礎知識から評価・指導まで幅広く学びます。授業後に復習し、不明な点は質問するなどして理解を深めてください。

■ 教　科　書

書　名：言語聴覚療法シリーズ７　改訂機能性構音障害
著者名：本間　慎治
出版社：建帛社

■ 参 考 図 書

書　名：シリーズきこえとことばの発達と支援　特別支援教育における構音障害のある子どもの理解と支援
著者名：加藤正子・竹下圭子・大友潔
出版社：学苑社

■ 留意事項

不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合がある。変更が生じた場合は、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。